



【見上げる高さ 厳島神社の大鳥居】

5月15日広島でのセミナー開催のついでに、宮島の厳島神社を訪れました。あの有名な大鳥居を海側から見上げてきました。(写真奥が本殿になります。)干潮時には鳥居の下を歩いてくぐれるというのも意外な発見でした。今回は2時間弱の滞在でしたが、次回は宮島の自然も散策したいと思います。

今月の内容は以下のとおりです。目次をクリックすると該当ページに飛びます。

～CONTENTS～

- P1 今月のダイジェスト
- P2 運用状況のご報告等
- P3 組み入れファンド運用状況
- P4 村山's Eye『世界をリードする日本』
- P5・6 Q&A コーナー「最近、相場が大きく動いていますが、
こういう時にはどうしたら良いのでしょうか？」
- P7 ありがとう投信からのお知らせ
- P8 今月のありがとう便り【ローン】

税理士・公認会計士が立ち上げた資産運用会社



ありがとう投信
Arigato Asset Management Inc.

ありがとうファンド

追加型投信/内外/株式/ファンド・オブ・ファンズ

第 70 号
基準日
2010 年
5 月 31 日

1000 円からの資産運用
ありがとう投信
Arigato Asset Management Inc.

今月のダイジェスト

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号
(社)投資信託協会会員

<運用成績等>

- ・ ありがとうファンドは▲8.9%。[10/05/06~10/06/01]
- ・ 同時期の TOPIX(日本)は▲10.8%、MSCI・WI(先進国)は▲9.6%、MSCI・EM(新興国)は▲8.8%、ドル円は 2.7%の円高。[10/04/30~10/05/31]

* MSCI :モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル。世界で広く使われている株価指数を算出している会社。騰落率はドルベースの net 指数で計算。

<運用状況>

- ・ 5 月はコモンズ 30 ファンドのみ若干の買い増し。他は売買を見送り。
- ・ 世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり、保有ファンドも総じて軟調。

<今後の方針>

- ・ 引き続き、厚めのキャッシュポジションによるリスク軽減を重視。
- ・ 海外株ファンドを中心に、機を見て少しずつ買増していく。

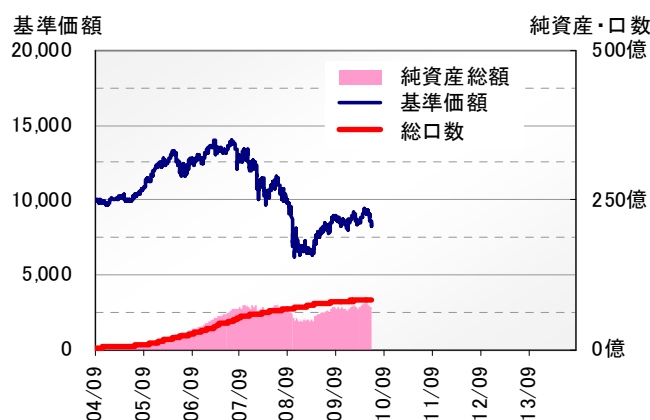


CIO(最高投資責任者)

岡 大

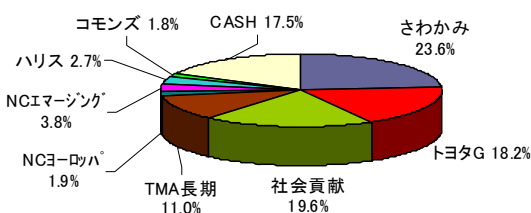
基準価額	純資産総額	受益権総口数	口座数	積立割合
8,434円	70億37百万円	83億44百万口	5,636	46.2%

■基準価額・純資産総額の推移

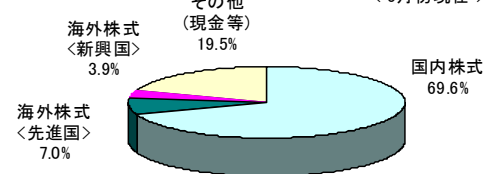


<総口数は設定来 69 ヶ月連続純増>

■組入れファンドの比率 <5月末現在>



■ありがとうファンド全体(各ファンドの合計)の資産配分状況 <5月初現在>



1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来	年率複利(※)
▲8.0%	+6.2%	+5.0%	▲36.6%	▲15.7%	-2.92%

※「年率複利」とは、設定から現在まで運用を行った結果を、複利で換算した場合に何%でまわっていたかで表したものです。過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、また個々のお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

『ありがとうファンド』の目論見書を改訂しました！

『ありがとうファンド』の半期報告書を 5 月 31 日付で関東財務局に提出したことに伴い、目論見書の記載内容を変更いたしました。今回の改訂は重要な変更ではございません。目論見書の交付をご希望のお客様には郵送または電子交付をさせて頂きました。尚、今後の目論見書の交付が不要なお客様は、同封した同意書をご返送頂くか、弊社までお電話でお申し出下さい。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

カスタマーサービス部

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

【運用状況のご報告等】

5 月の株式市場は、ゴールデンウィーク中の世界的な株安から始まりました。この辺りのことは先月の月次レポートに書きましたが、世界中の投資家がリスク回避の姿勢を強めたもので、売りが売りを呼ぶような負の循環に見舞われました。動いたのは株式市場だけでなく、為替、債券や商品市況まで、総じて大きく荒れる展開となりました。

こうした中、皆様のありがとうファンドは、これまで申し上げてきたとお買い増しについては慎重な姿勢で臨み、今月は『コモンズ30ファンド(適格機関投資家用)』を若干購入したのみで、その他のファンドの売買は全て見送りました。このため、5 月末のキャッシュポジション(現金比率)は17.5%となり、先月より少し上がっています。

今後も、組入れ比率の低いファンド(特に海外株式型)を中心に買い増しを進めていくつもりで、今のところ方針変更の予定はありません。ただし、しばらくは引き続き慎重な投資態度を継続します。もちろん、想定以上の急騰があれば一部売却を検討することになりますし、逆に、何かの拍子に相場が急落するようなところがあれば、そこは積極的な買い増しを検討します。こうした基本姿勢も変更なしです。

さて、こんな風に相場が大きく動いたとき、お客様はどう考えてどう行動したら良いでしょうか? …5 ページからの今月の Q&A ではこれをテーマに取り上げ、その中で『長期投資のよりどころ』、『投資を続けることの意味』などの重要なポイントを簡単にご説明しています。「下げをくらっても取り返せる可能性が高いけれども、上げに乗れなかったら取り返しがつかない」、私たちの考えはそこに行き着きますが、いかが思われますか?

ところで、5 月には日本企業の 3 月決算が続々と発表されました。終わった 2010 年 3 月期がおおむね非常に良い数字になったことは新聞等で報じられている通りですが、加えて今期の見通しについても、輸出型企業を中心に、かなりポジティブな声が多く聞かれました。中国や米国では、実需がずいぶん動いているようですね。5 月下旬に発表された日銀の声明でも、「わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある」という表現が使われました。「持ち直しを続けている」からの表現の上方修正で、『回復』という文言が使われたのは 2003 年 10 月以来とのことです、これもうなずけます。

確かに、ギリシャ(他にスペインやポルトガルの名前も挙がっていますが)の信用問題や、中国のバブル懸念、日本の政治迷走等など、『買わない理由』はいくらでもあり得ます。だからこそ、株価も全体に下がっているのでしょう。こういう局面では、市場全体の動きを映すインデックスファンドだとパフォーマンスを上げるのはちょっと辛いですよ。『全てが良い』とは、さすがに思えませんから。

でも、私たちが買っているファンドの投資先は<選別された良い企業>です。そして、上で述べたように、今は「全てが悪い」という局面でもありません。良いものと悪いものが選別される二極化の局面にあるのです。組み入れている各ファンドから 5 月末の状況報告も受けていますが、みんな、全体の動きに押されて一緒に下げってしまった良い企業の株を、安値でせっせと仕込んでくれています。

だから私たちは、市場全体の荒波の合間を縫ってリスクを抑えながらも、これらのファンドを逐次買い増していくことを基本方針としているのです。

岡 大 CIO(最高投資責任者)

ありがとうファンド

追加型投信/内外/株式/ファンド・オブ・ファンズ

第70号
基準日
2010年
5月31日

1000円からの資産運用
ありがとう投信
Arigato Asset Management Inc

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号
(社)投資信託協会会員

◇組み入れファンドの運用状況

さわかみファンド

騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-11.3%	+8.5%	+8.0%	-3.4%

トヨタグループ株式ファンドF
(適格機関投資家専用私募)

騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-11.1%	+0.6%	-2.3%	-7.5%

社会貢献ファンド
(適格機関投資家専用)

騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-9.9%	+10.2%	+10.9%	-11.7%

TMA長期投資ファンド
(適格機関投資家限定)

騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-8.3%	+3.2%	+8.2%	-22.1%

ニッポンコムジェスト・
ヨーロッパ・ファンドSA
(適格機関投資家限定)

騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-12.0%	-4.6%	+4.1%	-27.5%

ニッポンコムジェスト・
エマージングマーケット・ファンドSA
(適格機関投資家限定)

騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-9.3%	+4.1%	+12.4%	-8.9%

ALAMCOハリス
グローバルバリュー株ファンド2007
(適格機関投資家専用)

騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-14.0%	+2.4%	+20.0%	-12.6%

コモズ30ファンド
(適格機関投資家用)

騰落率	1ヶ月	6ヶ月	1年	組入来
	-10.8%	+0.6%	-	-3.5%

株式組入上位5銘柄

	銘柄	コード	業種	組入比率
1	商船三井	9104	海運業	4.34%
2	リコー	7752	電気機器	3.46%
3	全日本空輸	9202	空運業	3.21%
4	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	3.11%
5	パナソニック	6752	電気機器	3.05%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	コード	業種	保有比率
1	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	49.82%
2	デンソー	6902	輸送用機器	17.01%
3	豊田自動織機	6201	輸送用機器	5.97%
4	アイシン精機	7259	輸送用機器	5.86%
5	豊田通商	8015	卸売業	3.59%

※個別銘柄の保有比率は、現物株式の組み入れ=100%とした各銘柄の比率です。

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	コード	業種	構成比率
1	堀場製作所	6856	電気機器	3.5%
2	アシックス	7936	その他製品	3.1%
3	トクヤマ	4043	化学	3.1%
4	DOWAホールディングス	5714	非鉄金属	3.1%
5	住友金属工業	5405	鉄鋼	3.1%

※構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	国	業種	比率
1	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL A	アメリカ	保険	4.1%
2	BARRICK GOLD CORP	カナダ	素材	3.6%
3	キーエンス	日本	産業用エレクトロニクス	3.5%
4	エア・ウォーター	日本	基礎素材	3.0%
5	テルモ	日本	医薬品・ヘルスケア	3.0%

※比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	CAPITA GROUP PLC	イギリス	資本財・サービス	6.4%
2	DANONE	フランス	生活必需品	6.3%
3	SYNTHES INC	スイス	ヘルスケア	6.2%
4	ROCHE HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	5.7%
5	ESSILOR INTL	フランス	ヘルスケア	5.3%

※比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	4.5%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	台湾	情報技術	3.7%
3	JBS SA	ブラジル	生活必需品	3.7%
4	GOLD FIELDS LTD	南アフリカ	素材	3.6%
5	BUNGE LTD	アメリカ	生活必需品	3.4%

※比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	国	業種	構成比率
1	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.5%
2	CARNIVAL CORP	アメリカ	消費者サービス	4.1%
3	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	各種金融	3.7%
4	JULIUS BAER GROUP LTD	スイス	各種金融	3.6%
5	APPLIED MATERIALS	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.5%

※構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

組入れ銘柄の一部をご紹介します

三菱商事	8058
変化に強い組織力で、進化し続ける 地球規模の視点で、事業(非金融)と投資(金融)を組み合わせという世界でも稀な事業モデルです。三菱三綱領をベースに、長期持続的成長を意識した経営を志向しています。引き続き世界経済の成長を享受すると考えます。	

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。



村山's Eye 『世界をリードする日本』

※このページの内容はあくまでも村山甲三郎の個人的な意見であり、弊社の会社としての考えと異なっている場合がありますので予めご了承下さい。

これといった理由はありませんがこの2年半ほどの自分の月次レポートの原稿を読み直してみました。これは結構恥ずかしいものです。しかしおかげで自分が皆様に申し上げてきたことの中心点を確認できました。おそらく皆様には何を言いたいのかわかりにくいという方が多かったと思いますがお詫びの意味も含めて自分の申し上げたかったことを振り返ってみたいと思います。いわば自分の成績表のようなものです。

自分は何度も何度も「変化」と言ってきました。しかも「大きな変化」と。自分としては「変化」に2種類の区別をしてきました。一つは「起こる変化」。我々は受け身です。もう一つは「起こす変化」。自分たちの意思で変えてゆくことです。最近の月次レポートでは2つ目の変化について何度も申し上げました。一方「起こってくる大変化」については何度も取り上げた割には「どんなことが起こるのか？」をはっきり申し上げませんでした。なぜかというとならなかつたからです。今でもはっきり分かっているわけではありませんが見えてきたこともあります。それを少し考えてみたいと思います。

「世界が日本に追いついてきた」

大きな変化の一つはこれです。大きな財政赤字、超のつく低金利政策、中央銀行のバランスシートの巨大な膨らみ、アメリカも欧州も日本の姿にとても似てきました。今回の巨大な景気後退との闘いはまだ続いていますので日本の「失われた20年」との比較はまだできませんが、経済成長力のレベルが下がり、デフレないしはデフレ傾向が続き、景気が良くなったと思うとまた失速するパターンが繰り返されるようになると、世界(の先進国)が完全に日本に追いつくこととなります。どちらかというとその可能性は時間が経つにつれて高まっている気がします。

もうひとつの大事な変化は政治がどんどん経済に関わりを強めていることです。今世界の多くの国が政府支出を増やしています。それによって経済の安定が図られているのですがこれも政治の経済への関わりの一例です。国が出資するファンドが市場で積極的に投資を進めたり、世界的に需要が高まっている資源の獲得競争にも国は関与しています。資源を供給する企業にも多くの国が関わっています。これから世界の多くの政府が税収を増やそうとします。したがって税金の問題も今まで以上に注目されるようになります。政治と経済というテーマが大事になっています。

最後にとんでもない変化の可能性について。世界の資本主義の中心といえばアメリカですが、そのアメリカが社会主義的な国に変化する。共産主義の国でありながら経済に関しては資本主義的に変身を遂げてきた中国が社会主義的な社会に変化する。資本主義と社会主義の統合的な社会を模索してきた欧州に資本主義的な要素が強まる…

どうでしょうか? とんでもない変化ですね。確かなことはまだ分かりませんがこんな変化が実現することもありうると思っています。それでは日本にとっての大きな変化の可能性とはどんなことでしょうか? (この項続く)

エグゼクティブアドバイザー 村山 甲三郎

Q&Aコーナー

最近、相場が大きく動いていますが、こういう時にはどうしたら良いのでしょうか？

マスコミも評論家も、危機感を煽ることが仕事みたいなもの(メシのタネ)ですから仕方ありませんが、確かに額面通りに聞いていたら、ギリシャのせいで世界は破滅しそうですし、日本も巨額の国債のせいで簡単に滅びてしまいそうですから、これは心配にもなりますよね。

でも、財政の破綻によって滅んだ国家というのは、歴史上ただの一つもありません。つい 11 年前に破綻寸前の危機にあったブラジルの、あるいはほんの 9 年前に実際に史上最大規模の破綻をしたアルゼンチンの、現在の元気をみてください。経済は不死鳥の如し、なのです。



さて、それでは一つずつ確認していきましょう。まず、私たちがやっている『長期投資』についてです。長期の株式投資のリターンの源泉は、ザックリで言えば『経済成長』です。途中どんなに激しいデコボコがあっても、長い目で見れば経済は成長するし、それに伴って株価は上昇する・・・個別株では経済成長を企業成長と考えても良いのですが、いずれにしろこれが基本です。

ありがとうファンドで資産配分(アセットアロケーション)を工夫するのは、経済成長の右肩上がりの角度よりもなるべく大きなリターンを目指すためであって、大勢下り坂の中でアクロバチックに利益を狙って立ち回ろうというわけではありません。つまり、「世界経済は大勢上り坂」言い方を変えると「経済とは成長するものである」というのが大前提なのです。

では、なぜ経済は成長するものだと考えるのか。それは、一言で言うと「人間には欲・向上心があるから」です。世界の大半の国地域はまだまだ貧しく、人口はどんどん増えていて、それがみんな、少しでも良い暮らしを求めて日々努力するのですから、長期的には経済活動の規模が膨らまないわけがありませんよね。だから、不死鳥なのです。

ここまでを簡単にまとめると、リターンの大きさは投資のやり方によって違っても「長期で見ればいずれにしろプラスのリターンが期待できる」ということです。少なくとも私たちは世界が破滅に向かうとは考えていませんから、基本的にそういう観点に立っています。



順位	上昇率	年月日	終値(円)
1	+14.15%	2008/10/14	9447.57
2	+13.24%	1990/10/02	22898.41
3	+11.29%	1949/12/15	109.62
4	+9.95%	2008/10/30	9029.76
5	+9.30%	1987/10/21	23947.4

ここで、左のデータを見てください。なじみやすい日経平均を例に取っています。日経平均が算出され始めてから 60 年以上、年間の立会い日数が 240 日としても 14,000 日を越える中の『1 日の上昇率のトップ 5』です。意外と最近が多いですね。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

ありがとうファンド

追加型投信 / 内外 / 資産複合 / ファンド・オブ・ファンズ

第 70 号
基準日
2010 年
5 月 31 日

1000 円からの資産運用
ありがとう投信
Arigato Asset Management Inc

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号
(社)投資信託協会会員

このとき、直近 5 月末の日経平均 9,768.70 円が、もしも 60 年のうちのたった 5 日だけちょうど休んでいてこの上昇を取り損ねたらどうなっていたでしょう？ ⇒ 今の日経平均は半値近い 5233 円にしかになっていない計算になります。これを 30 年のチャートでざっと図示すると下のような感じです。30 年前と比べてプラスになっているかマイナスかの違いですから、かなり大きいですね。



このように、長期の経済成長をベースとする長期投資においては、たとえどんな大暴落にあっても時間をかければいずれいくらでも取り返せる可能性があります。数少ない暴騰のチャンスを取り損ねてしまうと、これはもう取り返しがつかなくなってしまうのです。ですから、いつも申し上げていることですが、長期投資で一番大切なことは「続けること」なのです。

やっと初めの質問の答えにたどりつきました。こういうときにも、たんとんと投資を続けること、答えはこれに尽きるのです。

さて、最後に一つ付け加えますと、相場が大きく動いて下がったときは「逆に買い時！」と考えることができれば、長期投資もずいぶん楽になってきます。たとえば、基準価額が 12000 円のときにファンドを百万円買って持っていたら、8000 円に下がったときにもう百万円買っておくのです。すると、平均買いコストは真ん中の 10000 円ではなく 9600 円になりますから、10000 円に戻ったときにはもう評価益が出てきます。

これは、基準価額が下がっているときには同じ金額でより多くの口数が買えるため、『ドルコスト平均法』と言います。発想は株式投資でいう『ナンピン買い』と同じですが、同じ口数ではなく同じ金額で買い増しするためにさらに効率が良くなるのです。

安いときに買えと言われても怖くてなかなか買えないよ！？ そういう方のために、『毎月購入サービス』や『分けて買いサービス』をご用意していますので、まずは資料をご請求下さい。

代表取締役 CIO 岡 大

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

ありがとうファンド

追加型投信 / 内外 / 資産複合 / ファンド・オブ・ファンズ

第 70 号
基準日
2010 年
5 月 31 日

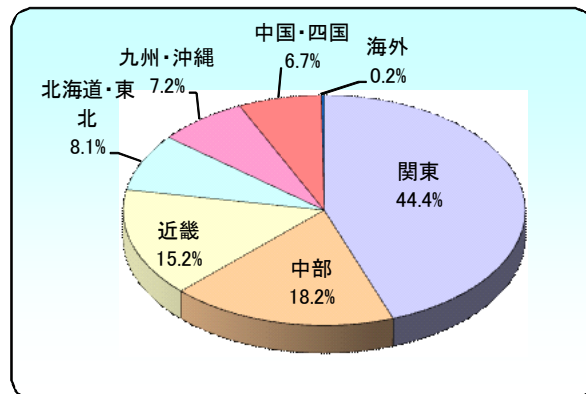
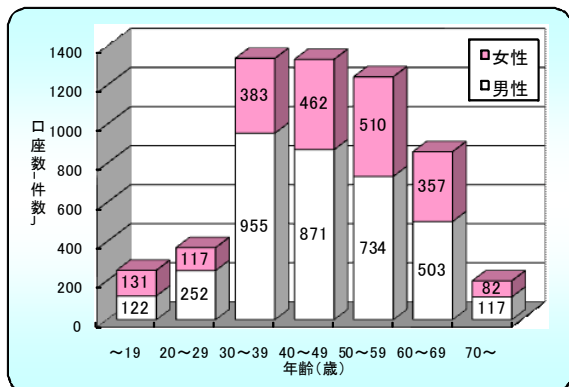
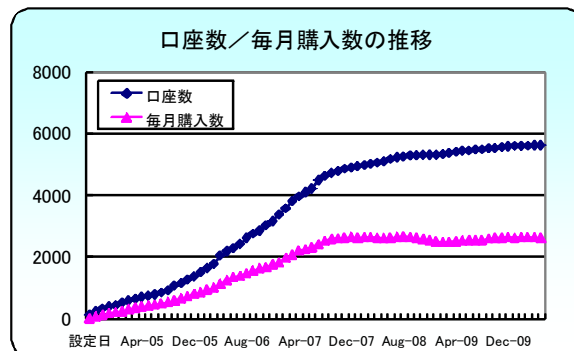
1000 円からの資産運用
ありがとう投信
Arigato Asset Management Inc.

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号
(社)投資信託協会会員

◇ありがとう投信からのお知らせ

■ 口座数の推移と年齢・地域分布

顧客数	前月比
5,636名	+6名
個人比率	毎月購入比率
99.3%	46.2%



■ 毎月購入サービスのスケジュール

今後の毎月購入サービスになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取り扱いとなりますので予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

	新規申込・口座変更	金額変更・中止	引落日	ファンド購入日(約定日)
平成22年7月分	受付終了	6月24日(木)	7月6日(火)	7月16日(金)
平成22年8月分	7月5日(月)	7月27日(火)	8月6日(金)	8月18日(水)

■ 今月のトピックス

☆ 『投資元本(取得価額)と買付受渡金額累計について』

取引報告書のお知らせ欄に表示されている投資元本(取得価額)と買付受渡金額累計の金額が一度も換金していないのに異なっている場合がございます。主に2つ理由がございます。一つは一般口座から特定口座に移管されたため、もう一つは一般口座で2006年4月の販売手数料無料化前にファンドを購入されたためです。前者の場合、移管する際に投資元本(取得価額)を税法に則りお客様に有利になるように再計算したことにより、買付受渡金額累計よりも投資元本が大きくなります。一方、後者の場合、販売手数料分だけ買付受渡金額累計より投資元本が小さくなります。また、一般口座と特定口座の両方に残高がある場合も異なります。



携帯サイト

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

ありがとうファンド

追加型投信／内外／資産複合／ファンド・オブ・ファンズ

第 70 号
基準日
2010 年
5 月 31 日

1000 円からの資産運用

ありがとう投信

Arigato Asset Management Inc



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号
(社)投資信託協会会員

ありがとう便り【ローン】(HP5月27日掲載分一部抜粋)

毎日の通勤電車ついつい車内の広告に目がいってしまいます。
先日のこと、網棚上の広告スペースの 6 つのスペース中 4 つがローンの広告に占められていました。消費者ローン、住宅ローンなどお馴染みのものですが、ここまでのローンの大合唱には閉口してしまいます。
ローンで物を買うということは、将来の収入を先食いするということです。一時は個人も満足しますし、国の GDP にもプラスに働きます。しかし、先食いされた将来はどうなるのでしょうか。またその先の収入を先食いするのでしょうか。
何だか国の財政赤字を国債という形で将来の世代に負担させているのとダブって見えます。あまりにローンが発達した社会には、何か裏側の不健全さを感じてしまいます。

(R.Y.)

■ 『ありがとうファンド』の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	無期限
決算と収益分配	毎年 8 月 31 日(休業日の場合は翌営業日)
お申込単位	1,000 円以上 1 円単位
お申込価額	取得申込受付日の翌々営業日の基準価額
ご解約単位	1 円以上 1 円単位
ご解約価額	解約請求受付日の翌々営業日の基準価額
委託会社 (販売会社)	ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号(社)投資信託協会会員
受託会社	NCT 信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第 25 号(社)日本証券業協会会員

■ 『ありがとうファンド』にかかるリスク

主なリスク 「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「ビジネスリスク」、「為替リスク」、「カントリーリスク」、「ファンド資産の流出によるリスク」
当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、**損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。**ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。

■ 『ありがとうファンド』にかかる手数料等

お申込手数料	手数料はありません。
ご換金(ご解約)手数料	手数料はありません。
信託財産留保額	信託財産留保額ははありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.945%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6%±0.3%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他の費用等	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。